

（財）自治体国際化協会 ロンドン事務所 マンスリートピック（2012 年 10 月）

市町村ごとの「成長」・「衰退」が分かる地図の公表（ドイツ）

成長・衰退する市町村

連邦建設空間整備局(BBR)に附属する建設都市空間整備研究所(BBSR)が、ドイツの市町村の人口展望が一目で分かるインタラクティブな地図をインターネットで公開した。

2010 年を基準として、市町村を色わけして表示しており、各市町村の重要なデータにもアクセスすることが可能となっている。

<http://info.bbr.bund.de/imagemap/swsgem/web/index.html>

同研究所は、インタラクティブな地図の基となっている地図を作成するために、市町村の人口数だけでなく、その他の重要な指標にも配慮している。市町村を「強い成長」、「成長」、「現状維持」、「衰退」及び「強い衰退」の5つに区分している。指標は以下の通りである。

- ① 人口変動（5 年間）
- ② 1000 人当たりの平均移動率（流入者数、流出者数）（3 年間平均）
- ③ 就職傾向（求人数の変化）（5 年間）
- ④ 失業率（2 年間平均）
- ⑤ 一人当たりの市町村の課税力
- ⑥ 一人当たりの購買力

この指標は、市町村の成長・衰退が多次元の過程であることを表している。人口の減少は、負の連鎖を生み、悪循環をもたらす。求人数が少なくなるために、徐々に住民が去って行き、全体の人口が減少する。働き口が不十分なため、人口が減ることで、購買力が下

がり、税収の減少につながる。市町村の税収が減少すれば、財源の確保が出来ず、投資ができなくなり、循環をさらに悪化させる。指標が互いに関連性を持っている。

「衰退」という現象がいつから目立つようになるか

上記の指標は、地方自治体の成長・衰退に影響を及ぼしているため、地方自治体を比較する上で、指標に平等な重みづけをすることは適切である。市町村は、指標がそれぞれ悪い方向に向いているほど「衰退問題」を経験することになる。

- ・人口減少が大きければ大きいほど
- ・市町村からの流出人口が多ければ多いほど
- ・就職口の数が減れば減るほど
- ・失業率が高ければ高いほど
- ・住民の経済力・購買力が低ければ低いほど

状況が深刻となる。

6つの指標のうち、一つでもが全国市町村の下位 20%のグループに入っている場合には「衰退」が問題となる。したがって、より多くの指標の数値が悪ければ、相乗効果が働き、衰退問題はより深刻になる。市町村が4つから6つの指標で下位の 20%に入っていれば、カテゴリーとしては「強い衰退」と定義され、1つから3つまでの指標において、下位の 20%に入っていれば、「衰退」市町村として定義される。

このことは「成長」している場合にも当てはまる。ただし同数の指標が、全国比較で上位の 20%及び下位の 20%のグループに入っていれば場合には、「衰退」市町村として定義される。それ以外は、評価指標の配分により、「成長」や「衰退」のカテゴリーに区分される。指数がすべて中間に位置し、一つの指数も上位の 20%又は下位の 20%にも入っていない市町村は、「現状維持」市町村として定義される。

市町村の状況の変化

指数を基に市町村を比較すれば、13年間の傾向が明らかになる。1997年から2002年までの5年間、そして2005年から2010年までの5年間を比較すれば、次のことが分かる。

- ① 「強い衰退」の市町村の多くは、依然として旧東ドイツの州にあるが、全体数は減っている。1997年から2002年の間には、629市町村が「強い衰退」のカテゴリーに属していたが、2005年から2010年の間では、514市町村と少なくなった。2010年の時点では、規模の大きい都市は「強い衰退」のカテゴリーにほとんど入っておらず、「強い衰退」の地域に住んでいる全人口の割合は、2002年の44%から2010年には25.9%まで減少した。旧西ドイツの州では、約30市町村のみが「強い衰退」であり、そこには全人口の0.2%が住んでいる。
- ② また、「衰退」というカテゴリーの市町村数にも変化があった。1997年から2002年の間には、旧東ドイツの州の人口の50%近くは、「衰退」の328市町村で生活していた。2005年から2010年までの間で見ると、「衰退」のカテゴリーの市町村は413市町村に増えたが、当該地域に住む人口の割合は、37%に減少した。
- ③ 旧西ドイツの州においても、1997年から2002年までの間に「強い成長」の市町村が284市町村で、あまり多くはなかった。そこには、旧西ドイツの州の人口の5%が住んでいた。8年後、「強い成長」の市町村は375市町村に増えた。中には、中心都市としての機能を果たす市町村もあれば、郊外に位置する市町村もある。人口に関しては、旧西ドイツの州の全人口の17.6%は「強い成長」の市町村に住んでいる。最も成長が目覚ましい地域としてはミュンヘン市、ハンブルク市、ライン・ルール地域（ケルン市やボン市を含む複数の都市）やフランクフルト市を含むライン・マイン地域、そしてシュトゥットガルト市があげられる。
- ④ ベルリン市の発展にも興味深いものがある。東西ドイツ統一（1990年）以降、中心部から郊外へ転居することが可能になったため、郊外市町村は成長を果たした。ベルリン市自体は、2003年から2008年までの期間以降、人口増加に転じている。旧東ドイツの州のほかの大都市では、ドレスデン市、エアフルト市、イエナ市及

ピマクデブルク市は成長したが、ライプチヒ市の場合には、一定期間は成長もあったが、現在は不安定な状況が続いている。

「強い成長」対「強い衰退」

市町村がカテゴリー間を移動することから、「衰退」が「強い衰退」となり、「成長」が「強い成長」となるような、「成長」と「衰退」のギャップが時代とともに大きくなる。大都市は徐々に成長のエンジンに戻り、大都市やその郊外が成長を見せているなか、都会から遠い地方部では、西にも東にも関わらず、衰退に対応せざるを得ない市町村が増えている。

「成長」の傾向は主に大都市に見られ、大都市圏の影響を受けない地方部の市町村は、発展の可能性を失う。従来から機能していた仕事や住民を引き付けるための競争手法は、都市部以外では効果を失ってしまっているため、特に小規模都市や町村のための支援事業が必要である。連邦交通建設都市開発省は、「地方部のサービス整備」という大きな枠組みを 2010 年に決定した。過去に実施された大型モデル事業「人口変動：地域は自ら将来を作り上げる」や、地方におけるサービス提供向上のためのコンペ「人と成功：地方のインフラに貢献する先進事例」（月例報告 2009 年 7 月、2011 年 7 月、2012 年 4 月を参照）などの成果を生かし、市町村間の協力を促す支援事業や都市部と地方部を関連付ける取り組みが引き続き実施されている。

これらの一つとして、小規模な市町村を対象とする「小規模市町村のための自治体間協力やネットワーク形成」という都市発展事業がある。地方のニーズに合わせたサービス提供を維持できる形で、市町村が地域の中心的な役割を果たすことができるための支援を行っている。

建設都市空間整備研究所(BBSR)は、市町村の成長・衰退に関するデータをインタラクティブな地図として公表している。インターネットで利用できる他の一般的な地図と同じようにズームやスクロールができるようになっている。市町村のアイコンをクリックすれ

ば、6つの指標のデータが表示され、市町村間の比較もできる。すべての市町村は過去13年のデータを基にしたカテゴリーに配属され、5つの色でカテゴリーが表示されている。赤は「成長」、ブルーは「衰退」、黄色は「現状維持」を表している。したがって、市町村やその関係者、一般市民だれでも、市町村が直面する課題を認識することができる。

しかし、人口については絶対的な予測はできないことを認識する必要がある。ドイツの人口は2002年から縮小に転じたが、2011年には移民数の増加により、総人口が再び増加し始めた。

以下の地図は建設都市空間整備研究所(BBSR)のウェブサイトからの写しであるが、インタラクティブな地図の他に、説明が付いている地図にもアクセスすることができる。

参照

Bundesinstitut für Bau-, Stadt- und Raumforschung (BBSR), 'Wachsende und schrumpfende Städte und Gemeinden':

http://www.bbsr.bund.de/nn_1051708/BBSR/DE/Raumbeobachtung/AktuelleErgebnisse/2012/WachsenSchrumpfend/wachsend_schrumpfend.html

<http://info.bbr.bund.de/imagemap/swsgem/web/Wachsende%20und%20schrumpfende%20Gemeinden.pdf>

Bundesministerium für Verkehr, Bau und Stadtentwicklung, Kleinere Städte und Gemeinden:

überörtliche Zusammenarbeit und Netzwerke

<http://www.bmvbs.de/SharedDocs/DE/Artikel/SW/kleinere-staedte-und-gemeinden.html?nn=35780>

ドイツの成長・衰退する市町村

